

湘南日独協会 会報
Der Wind
(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)
VOL. 14. NO. 3. 通巻82. 発行 2012. 5. 6.

湘南日独協会
Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan
事務局：〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-1-1
江ノ電第2ビル7F
TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

150周年記念菩提樹 in 鎌倉



4月11日鎌倉市雪の下「川喜多映画記念館」の庭園において、日独交流150周年記念の菩提樹植樹式が奈須菊夫鎌倉市経営企画部次長兼秘書広報課長並びに青山課長、湘南日独協会からは松野、三谷両副会長以下理事・会員が出席行われました。

菩提樹は旧和辻哲郎邸の庭園に植えられています。機会を作りお訪ね下さい。3頁をご参照下さい。

全国日独協会連合会総会報告

4月17日東京ドイツ文化会館において開催され、織田会以下、西山、能登、勝亦、大久保の各理事が参加しました。シュタンツェル駐日ドイツ大使、日独協会連合会からライバー副会長も出席され挨拶されました。

大使からは「アムゼル」も出演した、ドイツフェスティバルが予想を上回る25千人を越える参加者があり、またドイツからの菩提樹の植樹も大使館の期待を上回る希望が寄せられ、両国の絆がさらに強まった事を嬉しく思うとのお話がありました。

ライバー氏からは、東日本大震災への協力支援に関して、幼児からの募金も併せ、各地の独日協会は活動を継続、各種のプロジェクトも順調であるとの発言がありました。

今年従来より力を入れて来た、将来を担う若い会員の増強育成に特に発言が多くあり、日独両国の若者交流の為の基金11,000千円の創設が発表されました。

(4頁へ続く)

新入会員紹介 (敬称略)
井上 洋美 吉田 弘子

湘南日独協会の活動予定

■第81回例会 講演会

「福島原発の現状と問題点」

講師 松野義明氏 (会員・理事)

昨年の大震災発生からもうすぐ1年になります。昨年4月の例会でもお話ししました。

日時 5月27日(日) 14:00~15:45

懇親会 16:00より別会場、会費別料金で
予定しています。

会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア

会費 1,000円

■6月懇話会

「ヤンマー100周年と私」

スピーカー：大石則忠氏 (会員・理事)

100周年を迎えた世界的な機械メーカーであるヤンマーはドイツと深い関係を持っています。長年勤務され個人的にもドイツと係わりの深い大石氏のお話です。

日時 6月23日(土) 18:00~20:00

会場 藤沢産業センター (藤沢郵便局隣のDNビル)
6階 コミュニティールーム(2)

会費 1,000円 (飲食費は別料金)

■第82回例会 講演会

「ドイツにおける移民問題の現況」

講師 昔農英明氏

労働力の面から移民を受け入れていたドイツはその後移民問題に関して様々に議論されて来ました。日本でも少子化の影響からの労働力不足対し、移民が急速に話題に上るようになっていきます。若い研究者による興味深い講演会です。

日時 7月29日(日) 14:00~15:45

会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア

会費 1,000円

なお、16:00より懇親会 (別会場・別料金)

■8月はお休みです。

次頁に

オクトーバーフェスト 予告

3 月講演会

「ドイツの報道に見る福島原発事故とドイツのエネルギー政策」

—講師 川口マーン恵美氏—に参加して

会員 荘林 麻美子



(川口マーン恵美氏と荘林麻美子氏)

福島原発事故を Super-GAU (原子力発電所で予想される最大事故) と認識したドイツはこれをどう報道したのか、ドイツがエネルギー政策においてその後の数ヶ月間で脱原発へと転換しえた背景には何があったのか。ドイツ在住の川口マーン恵美さんから貴重なお話をうかがい、その明解なお話しぶりにたちまち惹きこまれていきました。

まずドイツにおける報道のあり方について次の2点が挙げられました。「死の恐怖に包まれた東京」という新聞の見出し、花粉症でマスクをしている日本人男性の写真の掲載、映像にはチェルノブイリの事故のものを入れ込む等、人々の恐怖を煽る過剰報道であったこと、他方ドイツの報道が日本のそれよりも正しい情報提供もしていたということです。次に「ドイツの脱原発が唐突であったか」について、答えはNo。反原発の動きの背景には過去40年の長い道のりがあるということです。自然保護運動家(緑の党の前進)に始まったその活動に学生運動から流れてきた人々が加わり、そこに普通の人々をうまく取り込むことにより国民運動として全国に波及していった歴史があり、これを日本と大きく違う点として指摘されました。激しくデモが行われるのも日本との違いで、代表的な例として、使用済み核燃料の輸送を阻止する為にあの手この手で繰り広げられるデモの様子を紹介されました。川口マーン氏の言葉では「反原発40年の歴史ある国民の意思」だったのです。日本との比較においてドイツで脱原発が進んだ理由は、ドイツではマスコミが大きく取り上げ、国民をうまく取込んだことにあり、さらにチェルノブイリでの経験があります。ここで大きく作用したのがドイツ人の国民性だということです。それは政治への懐疑心、善悪を考えた議論、環境共生志向、といったものです。ご自身の身近な人々のエピソードを交えて語られたドイツ人像は、「なるほど」と納得する興味深いものでした。

講演の終盤、日本中の誰もが憂慮する日本のエネルギー政策の行方について話は進みます。脱原発への前提条件として日本とドイツの大きな違いは、日本には「セーフティネット(欧州隣国間で互いに電力の売買が可能)」、「褐炭による火力発電」、がないということ。自然エネルギーはその供給の不安定性から火力や天然ガスでのバックアップが不可欠であることは充分認識されており、ドイツでも今多くの課題に直面しています。日本が工業国であることを放棄することや、数世代前の生活に戻ることも非現実的であり、感情のみで反原発に進むわけにもいかない。川口マーン氏は次の2つの言葉を引用しました:「エネルギーがなくなると民主主義は滅ぶ」(曾野綾子)、「Erst kommt das Fressen, dann kommt die Moral」—まずは腹ごしらえ、道徳はそのあと—(Brecht『三文オペラ』)。

「原発事故を機に今日本人がエネルギーを考え、団結して国を守るときではないでしょうか。」誰もが抱える大きな問いかけに対する深い思いからの言葉で講演を締めくくられました。講演後の同氏との交流会でも質疑応答が活発に続き、直面する問題に思いを傾ける貴重な時間となりましたことに厚く御礼申し上げます。

(下の写真は当日の講演会会場内)

*****
♪♪湘南オクトーバーフェスト ♪♪ 予告

恒例のオクトーバーフェストの開催が決まりました。詳細はこれから決まりますが昨年と略同じ内容の見込みです。

日時 9月23日(日) 18:30 オープン

会場 グランドホテル 湘南

出演 エーデルワイス・トリオ

合唱団「アムゼル」

行事予定

■ 10月懇話会

仮題「ドイツ出張旅行裏話」 副会長三谷喜朗氏

■ 11月例会

仮題「グリムこぼれ話」 日本グリム協会会長橋本孝氏

■ 12月望年会

4月懇話会

どうして不器用なの? —小学生の指導を通して—
に参加して

会員 大久保 明



(大澤由美子氏)

参加された私を含めた多くの皆さん
がおそらく初めてこのような話を聞か
れたのではないだろうか。どのように
表現すべきか解らないままに当懇話会
の報告をしたいと思います。

スピーカーの大澤由美子氏は長年教
育特に特別支援教育と云われる分野に
携わって来られたようです。テーマの
「不器用」の原因はどこにあるのか? 不器

用・器用は先天的か後天的か? 後天的であれば訓練で改善が可能と
思うが、前者であればなにか改善策はあるのだろうか? 子を持つ親
ばかりか、本人も悩む事である。

不器用の多くが個々の持つ感覚に負う事が多いようだ。いわゆ
る、五感とは異なる固有覚、前庭覚それに触覚の三要因について説
明があった

「有覚(関節の曲がり具合や筋肉の収縮具合や腱の張り具合を脳
に伝える)に問題があると、ボタン留めるや茹で卵の殻むきが難し
い。

触覚に問題があると、触角防衛反応が出て、散髪や抱っこ、洗
顔、歯磨きなどを拒絶する傾向がある。

内耳の前庭覚(上下移動・前後移動を脳に伝える)に問題があれば
なぞり書きやキャッチボールが苦手。

行動、姿勢、運動、動作、態度をコントロールするために、脳が
外部からの刺激を組織化する働きを「感覚統合」と言い、感覚に問
題を抱えることにより、一般的な行動を取れない子供たちがいるこ
とに改めて知るとともに理解し周囲の環境作りの必要性も感じさせ
られた。

手作りの小道具と参加していた伊藤志津子さんをモデルに様々な
ケースを具体的に説明頂きユニークな懇話会でその後の食事会も大
いに盛り上がり、皆さんご協力有難うございました。



(懇話会会場一皆さん真剣なお顔です)

ドイツ語講座のご案内

湘南日独協会のドイツ語講座は4月より次の様
になります。初めての方も大歓迎です。

初級 土曜日 11:15~12:45

講師 小笠原藤子 Dagmar Kunst

テキスト「Modelle 1」

中級(講読) 土曜日 10:00~11:30

講師 松野義明

テキスト「岡田・岩崎ドイツ文法」

「Das fliegende Klassenzimmer」

(Erich Kaestner)

中級(会話) 土曜日 9:30~11:00

講師 小笠原藤子 Dagmar Kunst

テキスト「Modelle 2」

教室は、藤沢駅近くの、藤沢カソリック教会
の202と203です。

関心をお持ちの方は以下へご照会下さい。

松野 Tel: 0467-32-7300

Fax: 0467-32-7387

e-Mail: matsunoy@kamakuranet.ne.jp

記念菩提樹 in 鎌倉 (2)



(鎌倉市奈須次長と協会松野副会長)

川喜多映画記念館の奥の敷地に『古寺巡礼』等
で有名な故和辻哲郎氏の旧居が移築されています。
この日本家屋の庭園に菩提樹は植樹されました。

桜の季節には見事な美しい庭園ですが、将来は
菩提樹の花も香りも楽しむことの出来る庭園にな
ると思います。 会員林さんのケーキ喫茶の「螢の
小道」もお近くです。川喜多映画記念館に関して
は、インターネットで簡単に検索できます。

(電話は0467-23-2500)

♪♪ アムゼル 演奏会 ♪♪ 予告

湘南日独協会混声合唱団アムゼルは来年設立10周年を迎え、記念演奏会を開催します。

日時 2013年5月19日(日) 午後 会場 鎌倉芸術館小ホール 詳細は改めてお知らせします。

なお、合唱団アムゼルは梶井智子氏の指導の下、第1、第3、第5水曜日の午後13:30~15:30、藤沢カソリック
協会で練習をしています。ご関心をお持ちの方はどうぞ見学においで下さい。

連絡先 045-895-6845 (事務局 水谷)

(1頁よりの続き)

日独協会連合会総会報告

この基金は31の法人よりの18,200千円、大使館よりの682千円、個人よりの1,384千円から成り、1プロジェクト20~30万円の支援を行う。支援を受けたい協会は申請する事になります。

各日独協会から150周年記念を中心に活動報告が行われた中で特徴のある幾つかをご紹介します。

金沢日独協会の演劇(ドイツでの上演も予定)

仙台日独協会の写真展(日独交流初期)

公益法人日独協会(東京)の創立100周年祝賀

来年の総会の開催は5月中旬札幌で開催と決定されました。総会終了後はシュタンツェル大使のご招待で大使公邸でのレセプションが開催され和やかなひと時を送りました。

(文責 大久保)

義捐金のご報告

昨年5月、日独交流150周年記念「日独音楽家の集い」を開催、東日本大震災へのチャリティー音楽会と致しました。当日多くの皆様のご協力と、出演者の方々のご好意が寄せられました。この度以下の通り義援金としてお届けいたしました事をご報告致します。

拠出先 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

金額 58,250円

使途 鎌倉市に避難されている東日本大震災被災者支援

訂正等のお知らせ

3月号掲載の以下の2点について訂正等のお知らせします。

1. 「ドイツフェスティバル2012横浜」について、会報発送直後に事務局より準備が整わないとの理由で中止の連絡がありました。皆さんへの連絡が出来ずご迷惑をお掛けしたことをお詫び致します。
2. 横浜日独協会関連のお知らせ「ドイツ旅行のご案内」に関しテレビ神奈川の取材旅行に横浜日独協会が協力する事となり、一般からの募集は行わないことになりました。

新しい企画のお知らせ

湘南日独協会理事会は新しい企画を検討しています。皆様のご協力ご支援をお願いします。

- ①ドイツ語講座受講生を中心としたKlassentreffen(懇親会)を開催し受講生、講師、関係者との懇親を深め、講座の充実を図る。
- ②ドイツ語で語ろう!の会を開き、ドイツ人の参加を得て、会員の皆様のドイツ語を使う機会を増やす。
- ③ドイツ語で楽しもう!若い人達、子供達に絵本の読み聞かせ、ゲーム等を通してドイツとドイツ語への関心を深めて貰う。

♪♪会員情報♪♪**ゼフィール・カルテット コンサート**

会員の松野美智子氏がメンバーのカルテットの演奏会をご案内致します。

日時 2012年6月8日(金) 18:30開演

会場 横浜栄区民文化センター リリスホール

チケット 全席自由 前売り 2500円

当日券 3000円

曲目 ベートーヴェン 弦楽三重奏曲 Op9-2

ブラームス ピアノ三重奏曲 Op8

フォーレ ピアノ4重奏曲 Op45

チケット取り扱い リリスホール 045(896)2000

島森書店 0467(22)0266

お問い合わせ・ご予約 松野 0467(32)7300

編集後記

○来年2013年は1998年11月14日設立の湘南日独協会の設立15周年に当たります。記念行事の計画を進めています。会員の皆様のアイデアを集結して記念を祝いたいと思います。どうぞご意見をお聞かせ下さい。同時に合唱団アムゼルも10周年を迎え、記念演奏会を開催します。皆様ご存じのドイツ民謡、ドイツの合唱曲、例えばシューマンの「流浪の民」など名曲を猛練習中です。ご期待下さい。

○若い会員の活躍を期待しました育てる必要があります。ドイツ語講座の受講生にももっと会員としての活動を期待したいものです。理事で現在ベルリンへ留学中の寺田雄介氏が来年3月頃までに帰国される予定です。今回ご寄稿頂いた荏林麻美子氏、7月例会講師の昔農英明氏等、益々の活躍を期待したいと思います。

○現在事務局担当の昔農理事がホームページの活用について実務担当の寺田理事と検討しています。会報は現在隔月発行となっており情報提供としての機能の充実を計る事と会員並びに非会員の方々のコミュニケーションの場としての活用へ、より有用なホームページとすべく皆様のご意見をお寄せ下さい。

○オクトーバーフェストが近づきました。今年も大いに楽しみましょう! 早速予定表に書き込んで下さい! Bitte nicht es vergessen!

忘れないで! (大久保)

★★ 湘南日独協会のホームページ ★★

<http://jdg-shonan.ciao.jp/>

「全国日独協会一覧」からもアクセスできます。